

平成22年 6月30日

第3回 企業技術説明会を開催しました

新潟港湾空港技術調査事務所では、5月17日（月）付けで、情報提供させていただいた、「第3回 企業技術説明会」を下記のとおり開催しました。

なお、本説明会は、『民間等で開発された新技術を管内インフラ整備に有効活用するための情報収集』、『民間等における技術開発の現状と動向の把握』を目的に昨年度から開催しており、民間企業の皆様より、整備局職員に対して開発新技術を説明していただきました。

記

1. 開催日時：平成22年6月28日（月）13：15～16：05
2. 場 所：国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所 3F会議室
3. 発表技術：発表技術の概要については別紙参照

	発表技術名称	発表企業等
1	環境活性コンクリート	日建工学（株）
2	SPD—M工法	東亜建設工業（株）
3	海洋レーダーによる海象情報配信システム	国際航業（株）
4	高強度PRC版	（株）ガイアートT・K
5	VHS工法による海域制御システム	五洋建設（株）
6	新しい消波ブロック—テトラネオー	（株）不動テトラ

応募技術6題を発表していただきました。

次回開催は、秋頃を予定しております。



企業技術説明会開催状況

お問い合わせ先

国土交通省北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所

TEL 025-222-6115 技術開発課 奥田・田邊

第3回 企業技術説明会 発表技術一覧

No.	技術名称	使用可能な工事	技術概要	発表企業
1	アミノ酸を含有した「環境活性コンクリート」	消波根固ブロック、環境活性・修復部材（パネル等）	沿岸域生態系の問題のひとつには、藻場・浅場などの浅場生態系を特徴付ける底生微細藻類を起点とする食物連鎖の劣化が挙げられる。近年では港湾内においても環境共生型事業が行われるようになったが、底生微細藻類に着目した事例は製鋼スラグを用いた材料がある程度で数少ない。しかし、天然由来であるアミノ酸をコンクリート混練時に添加するだけの本材料を用いることにより、底生微細藻類の生長が促進され、海域環境（基礎生産能）の活性化が期待できる。	日建工学 株式会社
2	SPD—M工法	軟弱地盤改良工、埋立地の減容化、浚渫土砂の土性改良（脱水）	SPD—M（Suction Plastic Drain—M）工法は地盤表層部を不透気層とすることにより大気圧シート敷設が不要となる真空圧密工法である。ドレーン材の上端部は不透気構造となっている。シート敷設が不要となるのでコストや工程の縮減が図れるとともに施工困難であった海上での適用が可能となり得る。本工法は次の場合に適用できる。①載荷盛土の代替、②掘削地盤の施工性改善、③埋立・廃棄処分場の減容化、④地盤改良の急速施工	東亜建設工業 株式会社
3	海洋レーダによる海象情報配信システム	海上諸工事（作業可否判断、濁り拡散モニタリングなど）	海洋レーダは、短波帯から超短波帯の電波を用い、広範囲の流れや波浪を連続的に観測できるリモートセンシング機器である。陸上設置のため設置・メンテナンスが容易であり、詳細かつリアルタイムな計測を必要とする沿岸環境監視や防災分野での利活用が期待されている。海洋レーダによる海象情報配信システムは、最短30分～1時間毎に海洋レーダからリモート収集・解析した海象情報データをデータベースで管理し、クライアント・サーバ型システムによりインターネット経由でデータベースにアクセスすることで、複数ユーザーが同時利用可能なシステムとなっている。	国際航業 株式会社
4	高強度PRC版	港湾・空港等における重荷重が作用する箇所での舗装	高強度PRC版は、交通荷重が特に大きい場合や軟弱地盤上に建設される舗装として、施工性の向上、工期短縮に大きく寄与できる舗装である。	株式会社ガイアート・K
5	VHS工法による海域制御システム	海岸保全、突堤等	VHS工法は、鉛直壁および頂版をスリット状とした低天端海域制御構造物で、幅広い波浪条件において優れた消波機能を発揮する。また、海水交換性にも優れ、漁礁効果も期待できる環境に優しい構造物である。	五洋建設 株式会社
6	新しい消波ブロック - テトラネオ-	混成堤、傾斜堤、離岸堤、潜堤等の港湾・海岸構造物の消波工、マウンド等の被覆	本製品は、防波堤や離岸堤等に用いる新しい消波ブロックです。従来の消波ブロックに比べて安定性が高く、経済性や構造強度（無筋）に優れるとともに、環境への親和性や環境負荷の低減にも配慮した消波ブロックです。消波ブロックに求められる様々な機能に関して、全て最上位の性能を有しています。	株式会社 不動テトラ